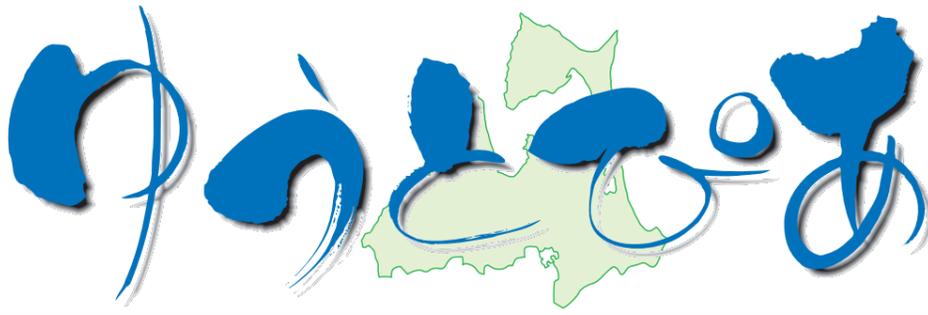


ENJOY CARE LIFE



社は  
介護の必要な人の上に立たず、  
その心に下りて為すを第一。  
社会の必要の外に在らず、  
その中に在りて為すを第二。

地域と介護の情報コミュニケーション誌



2018年3回発行  
Vol.62 4・8月合併号  
FREE PAPER

〈発行所〉社会福祉法人 楽晴会  
〈発行人〉齊藤 淳  
〈企画編集〉楽晴会広報委員会  
〒033-0041  
青森県三沢市大町二丁目6-27  
TEL.0176-53-3550 FAX.0176-53-2480  
E-mail:wmaster@rakuseikai.or.jp  
昭和58年創刊

アクセスしてみて!! <http://www.rakuseikai.or.jp>

高齢者総合福祉施設

「世田谷希望丘ホーム」

落成!!事業開始!!

平成三十年四月二日、東京都世田谷区に高齢者総合福祉施設、「世田谷希望丘ホーム」が開所いたしました。高齢者福祉施設としては大規模となり、地上五階建て、約百五十床の入居数に上ります。大きな事業の為、計画から長い月日を経て完成致しました。開所に至るまで関係各所からの大きなご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

現在当施設では、特別養護老人ホーム「世田谷希望丘ホーム」、都市型軽費老人ホーム「トラスト希望丘」、小規模多機能型居宅介護事業所「世田谷希望丘コラボケアセンター」の三事業が稼動しており、今後ショートステイや居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、障がい者



就労トライアルセンターの運営を予定しております。この度、施設が出来上がりました世田谷区は東京二十三区の中で最も人口の多い区であり、その数は九十万人に上ります。近年で移り住まれた方だけではなく、古くから住まわれている方も多い場所です。民家がひしめき、集合住宅も多く建ち並ぶ景色が広がっております。当施設の近隣にも希望丘丘団地という大きな集合住宅があり、様々な世代の方が暮らされております。

開所に先立ち、三月に施設内覧会を開催いたしました。近隣の希望丘丘団地にお住まいの方など、四百名を超える方にお越しいただきました。お客様の期待感を感じると共にそれにお応えしていく気概を胸に感じております。

開所して数ヶ月が経ち、職員も業務の安定化に向けて日々努力しております。今後も入職者が増える中で、楽晴会の品質方針である「お客様と職員と地域住民のエンジョイ」に対する理解を浸透させて参ります。その延長線上に様々な世代の方から必要とされる希望溢れる「世田谷希望丘ホーム」を実現できることなく成長して参ります。今後とも指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

(川尻)



高齢者総合福祉施設「世田谷希望丘ホーム」は、中学校の統合に伴って生じた跡地に建設されました。今後私どもの施設の他に、青少年交流センターや保育園、不登校の子どもが通えるスクール、区民集会室等が含まれた複合施設の建設が予定され、既に着工されております。このような多世代交流の拠点に私どもの施設が建設されたということは、共生社会推進の一翼を担うことにはなりません。お客様やご家族だけではなく、近隣住民の方との交流も大切に、地域コミュニティの活性化に欠かせない施設として成長して参ります。

高齢者総合福祉施設  
世田谷希望丘ホーム  
総施設長  
渡辺 博明

- ①出身地…神奈川県横浜市神奈川区
- ②血液型…O型
- ③趣味…ギター
- ④座右の銘…ちよつと無理してマイペース
- ⑤今後の目標…世田谷特養を早く満床にして、ショートステイ、居宅介護事業所のオープンをすることです。

都市型軽費老人ホーム  
トラスト希望丘  
相談員  
館林 ゆき

- ①出身地…東京都中野区
- ②血液型…A型
- ③趣味…街歩き
- ④座右の銘…千里の道も一歩から
- ⑤今後の目標…お客様の気持ちにより添う事を大切に、心温かな施設運営を行って参ります。

世田谷希望丘  
コラボケアセンター  
所長  
渡辺 和也

- ①出身地…青森県三沢市
- ②血液型…A型
- ③趣味…読書
- ④座右の銘…行雲流水
- ⑤今後の目標…地域の方に必要とされる事業所を地域の方々と共に作り上げていきたいです。



工事概要

- 施設名称 社会福祉法人 楽晴会 世田谷希望丘ホーム
- (特別養護老人ホーム 一〇〇名)
- (都市型軽費老人ホーム 二〇名)
- (ショートステイ 二〇名)
- (小規模多機能型居宅介護事業 登録者二五名)
- 建物種類・構造 鉄筋コンクリート
- 一部鉄骨造 地上五階建
- 陸屋根一部ガルバリウム鋼板葺き
- 敷地面積 3,603㎡
- (1,091.81坪)
- 建物面積 1階1,822.55㎡
- 2階1,557.74㎡
- 3階1,670.18㎡
- 4階1,670.18㎡
- 5階887.73㎡
- R階177.77㎡
- 合計7,626.16㎡
- (2,310.95坪)
- ・工事費等
- ①東京都補助金収入 1,398,813,732円
- ②借入金収入 1,018,100,000円
- ③世田谷区補助金収入 159,613,000円
- ④自己資金充当 446,001,000円
- ⑤本体工事支払金額(本体工事費のみ) 2,158,920,000円
- ⑥その他支払金額 722,161,938円
- (開設準備人件費・設計費・設備費 登記費用・研修費・旅費交通費等)



# 社会福祉法の改革と楽晴会

平成28年度の3月31日。改正社会福祉法が成立し、同日公布されました。今までで最大の改革で、当会は勿論全国の法人に大きな影響がありました。当会の取り組みについて紹介します。

背景としては、介護保険の制定や、障害者福祉サービスの推進の過程で、民間企業やNPOの自由な参入があり福祉サービスが競合する中で、社会福祉事業としての在り方や、民間企業との違い等の根本的な問いかけの中から改めて公益法人としての社会福祉法人の在り方を見直したことにあります。

- 経営組織の在り方の見直し
- 事業運営の透明性の向上
- 財務規律の強化
- 地域における公益的な取り組み
- 内部留保の明確化
- 行政の関与の在り方です。

## 楽晴会評議員 役員機構改革

今般の社会福祉法人制度改革のひとつである経営組織のガバナンス強化で役員の役割が大きく変更になりました。

これまでは諮問機関であった評議員会は法人運営に係る重要事項議決機関に変わり、その構成についても「社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者」となりました。理事の選任についても評議員会での決定となり、理事会は業務執行の決定をします。



評議員  
小池 妙子  
前弘前医療福祉大学  
保健学部長  
(東京都在住)

私は、評議員として一年余りを経過しました。その間、楽晴会の

以下簡単に楽晴会の取り組みをご紹介します。

○経営組織の在り方の見直し  
評議員会が見直されました。以前は諮問機関としてご意見を頂戴していましたが、改正により必置になり、法に基づく議決事項を決議することになりました。

(普通議決事項 過半数決議)  
理事・監事の選任・解任。決算。理事等の報酬基準の承認。法人合併。法人の根幹は評議員会で決裁していただくことになりました。

職員に接し、一人ひとりが「病める人の心にきちんと接近して支える」ことをモットーとしていることを知り、感心しています。



評議員  
石橋 修  
日本文理大学  
経営経済学部教授

新評議員として学ばせていただくことが多く恐縮しておりますが、社会福祉法人としてのミッションを肝に銘じて職員の皆様と連携・協働しながら職責を果たしていきたいと思っております。



評議員  
柏崎 美江  
三沢市民生委員  
岡三沢地区会長

重ね重ねのご縁から、私ごときが評議員という重責を得て、知れば知る程に利用者さんへの思いや働く人達への配慮、先を見越した

散など。

従って理事の近親者は評議員も理事もできなくなり、新たに評議員に大学の教授や弁護士など、本誌ご紹介の先生方を新任いたしました。

また理事や監事、評議員の役割も明確化され、その責任も明らかになりました。特に理事長が単に決定するのではなく、必ず理事会で重要事項は業務決定しなければならず、そういう意味では一般理事の責任が増したと見るべきでしょう。楽晴会では早くから執行理事体制を築くため、常勤役員を常設して参りましたが、まさに法的にも理事の責任が明確化されました。

○事業運営の透明性の向上  
事業の透明性のために、社会福祉法人の情報の公開の対象とルールが明確化されました。

経営方針等々、その行動力に深く感銘しております。多方面で応援していただけたらと思っております。



評議員  
山田 秀隆  
あおば総合法律事務所  
弁護士

平成二十九年四月一日より社会福祉法人楽晴会の評議員を務めさせて頂くことになりました。普段は法律専門職として活動しており、その知識や経験を生かし評議員の職責を全うしたいと思っております。よろしく願います。

- 高村 幸彦
  - 赤平 光定
  - 源 明
  - 安藤 光
  - 富田 隆
  - 林 正樹
- (以上10名)



# 給与改善委員会

当法人では、職員の給与に関する見直しを平成二十年から理事長以下、四名の執行役員計五名で話し合いを重ねてまいりました。

平成十八年 OJTの必要性が確認  
平成十九年 平均年収、平均勤続年数の確認  
平成二十年 コンサルタント会社との打ち合わせ(リクルート方式の人事考課設定)

平成二十一年 介護職のキャリアアップの設定  
平成二十二年 処遇改善交付金のため、給与規定の改定。  
平成二十三年 昇給、昇格、賞与についてコンサルト会社との打ち合わせ(レンジによる昇給システム導入)

平成二十四年 第一回給与会議、改善点の洗い出し 以降年度末までに七回の会議を行い、現行の問題点と変更項目、またその変更に伴う影響等問題点の話し合いを行う

平成二十五年 キャリアアップシートの作成、検討  
平成二十六年 教育プログラムの見直し  
平成二十七年 キャリアアップシートと実際の給与との比較検討

以降、翌年度末までに十七回の会議を行い、給与と教育を一体的に検討  
平成二十八年 正職員一人ひとりの基本給を見直す作業。最終学歴、前職の経歴の換算方法等検討しても、妥当性があるのかをまた検討。  
平成二十九年 新給与体系での支給開始

歌ではないけれど、一歩進んで二歩下がるような感じで、なかなか前に進んでいる実感が得られず、また時には議論が白熱する時もありました。給与改定という大変な事に取り組み、想像もしていなかった時間を費やし、大きな責任を感じております。

これからの楽晴会の職員にとって、よりよい待遇とは何かを常に考え、職員みんなが明るく前向きになれるような処遇を図っていきたくと考えております。

(齊紋)



実際の給与との比較検討

# 楽晴会グループって???

## 青森エリア

**三沢市 堀口拠点(H22年)**

- 療育・障害者相談センターボイス
- 地域活動支援センターボイス
- インディペンデントI (障害者グループホーム5人 サライト型住居2人)
- 障害者就労トライアルセンターボイス (就労移行支援事業 (就労継続支援B型))
- パラアートみさわ (日中生活介護)
- Cafe42 (就労継続支援A型)
- 堀口児童デイサービスセンターひかり (未就学児：発達支援 5人 放課後等：小～高校 15人)

**おいらせ町 おいらせ拠点(H28年)**

- 緑ヶ丘児童デイサービスセンター (未就学児：発達支援 5人 放課後等：小～高校 15人)

**三沢市松園拠点(H15年)**

- 松園 ケアラウンジ・スカイ 18人 (介護付有料ホーム)
- 松園 デイサービス・スカイ
- 松園グループホームスカイ 9人

**六戸町 晴ヶ丘拠点(S43年)**

- 晴ヶ丘老人ホーム 70人 (養護老人ホーム)
- はるが丘 デイサービスセンター
- はるが丘 介護支援センター
- グループホームはるが丘 9人

**三沢市 大町拠点(H24年)**

- 大町児童デイサービスセンターひかり (未就学児：発達支援 5人 放課後等：小～高校 15人)

**三沢市 栄町拠点(H19年)**

- 栄町 コラボケアセンター (小規模多機能)
- 栄町 ぬくもりの家 15人 (サテライト特養)
- 三沢 訪問看護ステーション
- 訪問入浴ステーション 青空
- ホームヘルパーステーション 青空

**三沢市 三沢拠点(S48年)**

- 三沢 老人ホーム 特養60人 ショート10人
- 三沢 デイサービスセンター
- 三沢 介護支援センター
- 楽晴会介護タクシー

**三沢市 松原拠点(H23年)**

- 松原 コラボケアセンター (小規模多機能)
- 松原 ぬくもりの家 20人 (サテライト特養)

**三沢市 大津拠点(H24年)**

- シニアライフ大津 (H30年～特定施設入居者生活介護) 40人

**三沢市 岡三沢拠点(H18年)**

- 岡三沢 コラボケアセンター (小規模多機能)
- 岡三沢 ぬくもりの家 16人 (サテライト特養)

**三沢市 大町本部(S42年) (法人単独事業)**

- 法人本部
- ソーシャルワークセンター
- ・しあわせネットワーク
- ・成年後見連携

## 仙台エリア

宮城県仙台市 (関連会社：株式会社ソシエノード)

**太白区 ひより台拠点(H17年)**

- ひより台 ケアラウンジ・スカイ 39人 (介護付有料)
- ひより台 デイサービス・スカイ
- ひより台 コラボケアセンター (小規模多機能)

**若林区 連坊小路拠点(H23年)**

- 連坊小路 デイサービス・スカイ
- 連坊小路 グループホーム・スカイ 9人

## 東京エリア

**府中市 車返拠点(H24年)**

- 車返団地 コラボケアセンター (小規模多機能)
- 車返団地 デイサービスセンター
- 車返団地 ホームヘルパーステーション青空

**世田谷区 世田谷拠点(H30年)**

- 世田谷 希望丘ホーム 特養110人
- 都市型軽費老人ホーム トラスト希望丘 20人
- 希望丘 コラボケアセンター (小規模多機能)

### 青森しあわせネットワーク

これまでの社会福祉制度は、子ども・障害者・高齢者といった対象者に合わせ、分野ごとに整備され発展してきました。一方で、少子高齢化や人口減少、家庭形態の変容、さらには地域に

これら課題は、ニーズの多様化や複雑化を伴って「制度の狭間」

おける人間関係の希薄化・孤立化などによる生活の不安定化の深刻なニーズが生じています。

昭和二十六年に福祉事業を担う法人として社会福祉事業法の制定とともに社会福祉法人が誕生し制度されました。

社会福祉法人が社会福祉事業以外の制度外の取り組みを行うことに制約がある中においても、それぞれの地域の課題に積極的に向き合って地道に実践を継続してきました。

既存の制度では対応が困難なニーズや現代社会の中で深刻化している生活課題の解決に向け積極的に取り組むことは、社会福祉法人の本旨であります。

この度青森県社会福祉協議会が主管となり、青森県内の社会福祉法人が連携して行う社会貢献活動「青森しあわせネットワーク」が組織され、支援が必要な人の早期把握と、制度の狭間のニーズや生活課題の具体的な解決を図ります。

の課題として浮き彫りになっていきます。

昭和三十二年に福祉事業を担う法人として社会福祉事業法の制定とともに社会福祉法人が誕生し制度されました。

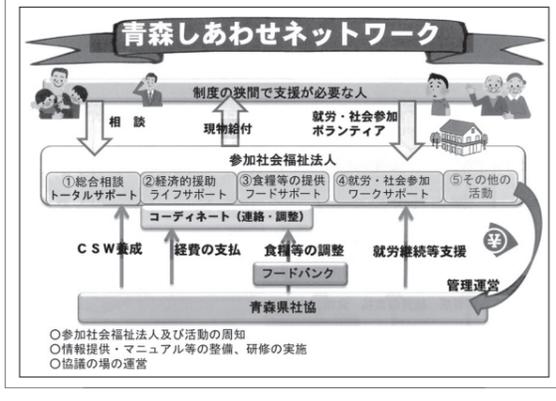
社会福祉法人が社会福祉事業以外の制度外の取り組みを行うことに制約がある中においても、それぞれの地域の課題に積極的に向き合って地道に実践を継続してきました。

既存の制度では対応が困難なニーズや現代社会の中で深刻化している生活課題の解決に向け積極的に取り組むことは、社会福祉法人の本旨であります。

この度青森県社会福祉協議会が主管となり、青森県内の社会福祉法人が連携して行う社会貢献活動「青森しあわせネットワーク」が組織され、支援が必要な人の早期把握と、制度の狭間のニーズや生活課題の具体的な解決を図ります。

#### < 活動内容 >

総合相談 (トータルサポート)		必須
経済的援助 (ライフサポート)	概ね5万円を限度とした経済的援助を現物給付で行います	任意 (拠点)
食料の提供 (フードサポート)	緊急性を要する生活困窮状態にある者に提供を行う為に必要な食糧等を備蓄します	任意 (拠点)
就労体験・社会参加活動の提供 (ワークサポート)	就労の場や社会参加活動の機会を提供します	任意



### 事例紹介

本年一月中旬、三沢市生活福祉課・生活困窮者自立支援窓口、自立相談支援員Yさんより電話が入った。

住所不定の二十歳の男性が車中泊しながら生活している。所持金がなく二日ほど何も食べていない。車検も切れており車も動かさない状態。ガソリンがなくなったから、この寒空の下、暖も取れなくなる。寮のあるところに就職させたいが、その間の食料等の支援が可能かとの相談であった。

現在、本人が福祉事務所にいるというので、すぐ訪問し今までの生活歴と職歴、現在の生活状況を聞き取りした。両親は離婚し、母と暮らしたが、幼いうちに母が死亡。児童養護施設で育った。誰も頼る人がいない状況で、緊急性ありと判断し支援を開始した。とに

かお弁当を買って届け、本部に連絡し相談した。理事長より、も晴ヶ丘養護老人ホームの空室があり一時的なものであれば施設長と相談して泊めても良いのではないかとアドバイスをいただき、施設長に相談した。

今、一室たまたま空きが出たので入所中のお客様に迷惑がからまないようであれば泊めても良いと返事を頂いた。本人を連れて施設長と面談し、ホームでのルールを守って生活するよう注意を受け、宿泊することになった。

新しい下着を買い、夕食を入居者さんと一緒に食べ、ぼさぼさの頭を相談員にバリカンを入れてもらい、お風呂に入り、月曜日には見違えるような好青年になって、ここに掃除や片付けを手伝っていた。

Yさんの方ではハローワークに相談し、神奈川県のある仕事

を探した。ただし、診断書が必要とのこと。N医院に相談すると二日くらいで作成してくれるとのこと。しあわせネットワークで診断書の支払いをお願いした。住所不定なので三沢市より除票を取って持たせ、パスモに三千円入れ夜行バスの切符の手配をし、時刻、施設長と二人で少々の小遣いを握らせ駅で見送ったが、二人とも何故かわが子を送り出すようなそんなセンチな気分になっていた。「頑張っつて」「うん。俺、働いて良い車買っつてね」「丁度一週間のお付き合いでした。

後日Yさんから報告があった。元気に働きたこと。

しあわせネットワークは様々な方の応援を受け、一人の青年を社会に送り出せた喜びをかみしめている。

(中川)



障害者の就労を支援し最低賃金以上で契約する就労継続支援A型事業所は、障害者総合支援法施行時に高齢者分野にはない目玉事業として脚光を浴びた経緯があります。障害を持つている方の生産者としての側面、社会参加の新しい形として期待されている事業であります。



一方でレストランという飲食店の側面もあり飲食業のノウハウも必要になり売上や新商品の開発も重要な取り組みになります。看板のない「隠れ家的レストラン」と噂のカフェになり予約も頂けるようになりました。グルメサイト「食べログ」では3・01の★がついています。(二〇一八年五月現在)



最近では、SNS（ソーシャルネットワークサービス）による情報が増えているなかでその社会状況にも対応する必要があるフェイスブックの更新も積極的に活用する様になっています。メディアの活用についても月刊八戸情報誌「Amuse（アミューズ）」二〇一八年三月号でサンド特集で取材を受け掲載されています。書店のポップに当店のサンドが使用されました。さらに、四月十日にATV（青森テレビ）夕方の情報番組「わっち!!」で生放送の中継という緊張の宣伝活動も行いました。(事前の打ち合わせの様子とレポーターの小三郎さんと瀬地素子さん)



おかげさまで春先の客数も増え、活気のある店内となっております。七月からは新メニューもご用意してみなさまのご来店をお待ちしております。

障害者就労トライアルセンターボイス（就労継続支援B型）の調理設備を生かし通所利用者が作成する菓子製造が好調です。

何と言っても今おすすめなのは、「アメリカン・レッドケーキ」です。みなさんは三沢といえばアメリカンケーキを連想する方も多いと思います。アメリカン・レッドケーキは、期待を上回るおいしさです。



1個648円（税込）

スカイプラザミサワ、Cafe 42でも販売、提供しています。今まで製造販売しているフレンチチーズケーキも大好評で六月三日三沢アメリカンデーでは試食販売を行い大好評。昨年以上に販売促進をしていきます。



### 障害拠点、防災への取り組み

堀口拠点では昨年度から本格的に災害に対応できる拠点の整備を行っております。年間の内部研修で年六回防災について連続講座、訓練を実施し、福祉避難所の開設、運営について取り組みました。

DIIGを実施しました。DIIGとは、D（ディザスター・災害）I（イマジネーション・想像力）G（ゲーム）の頭文字をとったもので、地図を使い、危険が予測される地域をシートの上に書き込んでいく訓練です。

三沢市全体を地図にすることで、どの地域がどんな被害に遭うのか、災害時に使用できる道路や店舗の場所の確認などを行うことができました。



さらに二〇一八年は防災計画に基づいた訓練を実施し実働可能な体制を作りたいと思います。福祉避難所としては障害者の避難所となるためコミュニケーションの取り方は重要でありコミュニケーションボードを使用した訓練、状況をより限定した訓練も計画しています。

地域の中で安心して生活できるようにに忘れたところにやってくる震災、災害を減災できる備えをし地域の一障害者支援事業所としての役割を果たせるように今後も取り組んでいきます。(中嶋)

### 24時間のケア体制に移行!!

#### 特定施設シニアライフ大津

平成二十四年十月に開設し今年で六年が経過致します。ここ一年の利用の状況から見ますと要介護認定者の増加に伴い看取りケアの必要性や重度者向けの介護サービスが求められております。以上のことから利用者様や地域のニーズにお応えする為に約一年間の準備期間を経て、三沢市第七期介護保険事業計画にてこの度、特定施設入居者生活介護事業所に移行となりました。

施設概要として落ち着いた外観、玄関付近のエントランスホールは憩いの場となっております。居室は19・87㎡で、トイレ・洗面台そしてミニキッチン完備。安全に入浴を楽しんでいただけるように個浴を始め、ターンリフターや特殊浴槽を備えております。約三十名のスタッフを配置し今後もお一



人おひとりの意思を尊重し介護サービス計画に基づいたケアサービスの提供と『その人らしい生活』の実現に努めて参ります。どうぞよろしくお願致します。なお、施設見学会を随時開催しておりますので、お気軽にご連絡をお願い致します。(種市)

#### 次世代経営候補者セミナー開催

平成二十九年九月二十二日に当会より選抜された十八名の職員が「不安な個人、立ちすくむ国家」市町村別将来人口推計を事前参考資料として読み込み今回セミナーに挑んだ。

「今後10、20年後の楽晴会の在り方について」をメインテーマに掲げたセミナー構成は、まず齊藤理事長による「モデル無き時代をどう前向きに生き抜くか」の講義。続いて業務執行理事による「幹部職員に必要な力量について」の講義後に職員達は社外理事等各理事者が見守る中で緊張しながら各自の決意表明をした。終了後は速やかに移動し市内の居酒屋で労をねぎらった。

#### 編集後記

経営者は育てられないともいうが、当会内部から輝きを発する人材を見逃さないようにこのような取り組みを続けなければならぬ。発掘してチャンスを与えて人を活かして参りたい。(山崎)

❖雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケズ ナントカ8月号完成シマタ アリガトウゴザイマス (齊)  
❖今回初めて「ゆうとぴあ」の刊行に携わらせて頂きました。ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。(苦)